

学校生活のきまり

学校は、学習する場であるとともに集団生活の場です。みんなが気持ちよく明るく楽しい中学生活を送るためには、みんなで学習にふさわしい雰囲気をつくるとともに、他人を不快にさせたり迷惑をかけることが大切です。井吹台中学校の生徒として、すばらしい学校生活を送るため、特に次のことを心得て、よりよい校風を築き上げていきましょう。

校訓 ・ 時を守り ・ 場を清め ・ 礼を正す

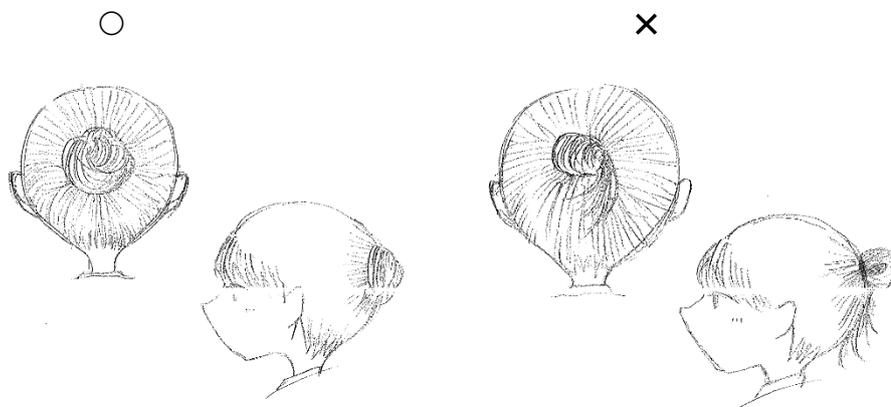
- ① 通学路を守って、安全に、時間に余裕をもって登下校しましょう。
 - ➡通学路とは、自宅から大通りへの安全な最短道路を利用し、そのあと大通りを利用することを意味します。居住者以外、私有地を通して通学してはいけません。
 - 登校の際は信号のある横断歩道を使用します。
 - VIVO前横断歩道（信号機なし）をそのまま南下し、信号機のある横断歩道を渡るようにします。
- ② 8時15分までに正門を通り、8時20分からの学習活動に備えます。
 - ➡8時20分に教室にいないと遅刻になります。
- ③ 登下校時は中央棟北出入口、南棟東階段を利用します。
- ④ 1時間目が体育の場合は、体操服・ジャージで登校します。
 - ➡標準服を、忘れないようにしましょう。
- ⑤ 清潔で活動しやすく、学習の場にふさわしいものにしましょう。
 - ➡標準服・体操服・カバン・名札は、本校指定のものを使用します。
 - ・カッターシャツ、ブラウス、ネクタイ、リボン、スカート、スラックスは自由に組み合わせることができます。カバンには、市販の反射板をつけてもかまいません。
 - ・名札は登校時に着用し、下校時に返却します。（令和6年度より教室にウォールポケット設置）
- ⑥ 正門前アースシティーの通用門付近には座らないようにします。
- ⑦ ウィンドブレイカーは、自由になります。（マフラー、ネックウォーマー、手袋も同様です。ただしこの3つに関しては教室で脱ぎ、カバンに入れる。）
- ⑧ 冬場は、ひざ掛けや、座布団を使用できます。それらは、教室に置いてかまいません。
- ⑨ 小学校から使っている防犯ブザーを使ってもかまいません。
- ⑩ 持ってきて良い飲み物は、お茶・水・スポーツドリンクとします。
- ⑪ 完全下校は、通年17時です。
- ⑫ 運動部・文化部問わず、公式戦やコンクール前は、延長練習をすることがあります。その場合は、顧問の先生から前もって連絡があります。

◎服装について

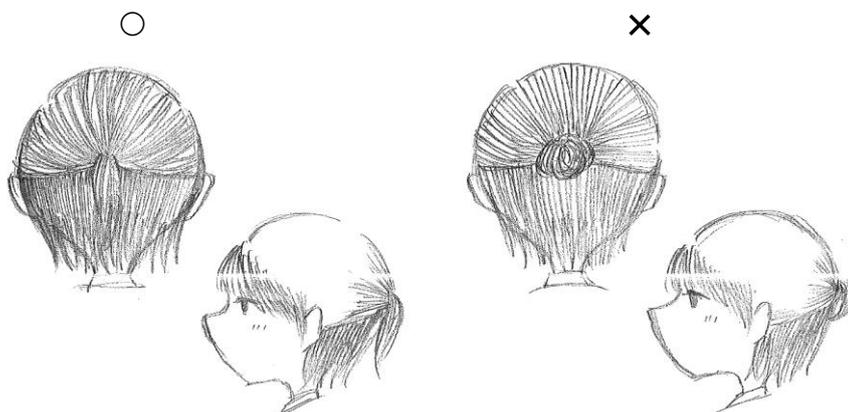
- ・ カッターシャツ、ブラウスの中の肌着の色は、白・グレー・ベージュです。
- ・ 靴は、運動靴（運動ができる靴）であればかまいません。色の指定はありません。
※ 雨天時は、長靴で登校してかまいません。校内では、危険なので運動靴に履き替えます。
- ・ 靴下の柄は無地で、色は白・黒・紺・グレーです。ワンポイント・ロゴ・ライン（3本まで）が入っていてもかまいません。それらの色の指定はありません。
また、長さの指定もありません。ストッキングははいてもかまいませんが、色はベージュです。
- ・ ブレザーのボタンはとめておきます。
- ・ 手袋、マフラー、ネックウォーマーを登下校時、使用できます。
- ・ ポロシャツ（夏服）の第1ボタンは開けていてもかまいません。
- ・ 黒タイツ、黒レギンスを防寒着として着用できます。
- ・ 体調・気候に合わせて、上着を着ずにセーターまたはベストで登校できます。
- ・ 夏服は、半袖ポロシャツ以外に、カッターシャツやブラウスも着用できます。
（ネクタイ・リボンを忘れずに！）

◎頭髪について

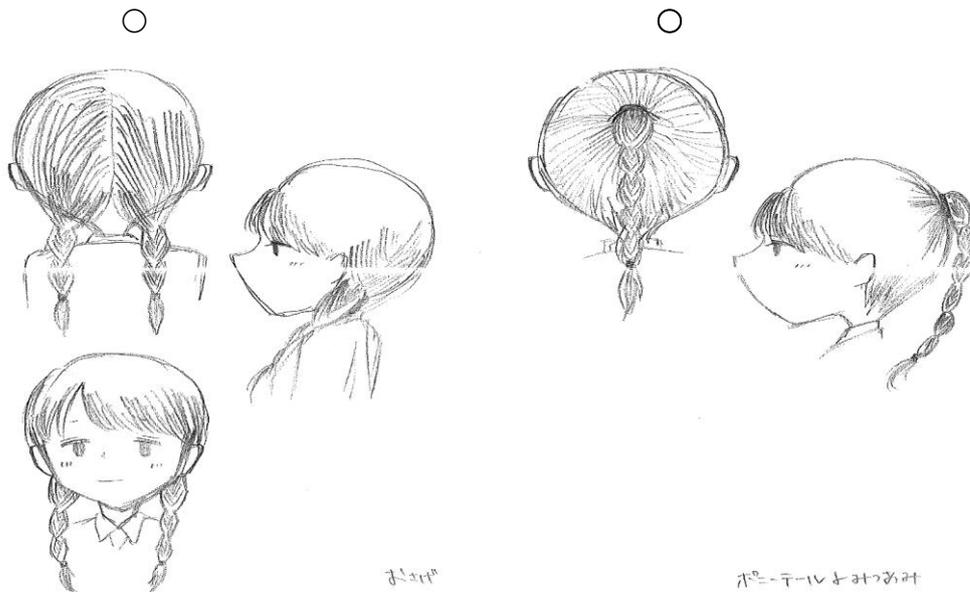
- ・ 清潔で学習や運動に適する髪型とします。髪が長い場合は、結び目が正面から見えない高さでくります。
- ・ おだんご、ハーフアップ、三つ編みはかまいませんが、以下の図を参考にしてください。
ただし、編み込みはしないようにします。
- ★お団子…毛先を出さず、きれいにまとめましょう（左図がOKです）



- ★ハーフアップ…あくまでまとめるだけ それをねじったりお団子にしないようにします
（左図がOKです）



★三つ編み…一本くくり、二本くくり、どちらでも三つ編みは、すべて可能とします。



- ・ツブブロックはかまいませんが、極端にならないようにします。極端な刈り上げ、左右非対称な髪型、髪を染めることはしてはいけません。
- ・整髪料は原則として使用しません。
- ・長い髪は、派手でない色のゴム（黒・紺・茶）を使って、学習や運動の妨げにならないようにします。ピンを使う場合は、小さめのものにし、色はゴムに準じます。特に、式典などのときは十分に考えましょう。

◎その他

- ・カイロは必要な場合使ってもかまいませんが、遊ばないようにし、必ず家に持ち帰りましょう。
- ・制カバン・補助カバンにはアクセサリをつけてはいけません。お守りは中に入れましょう。
- ・化粧および化粧に準ずることをしてはいけません。
（アイプチ・ピアス・ネイル・カラーコンタクト・まつ毛エクステなど）
- ・日焼け止めやリップクリームは無色無臭。
（日焼け止めは、スプレータイプを使用してはいけません）
- ・制汗シートは無香料。シートは各自持って帰ります。（スプレーやボトルタイプを使用してはいけません）